

取扱説明書

自動開閉弁付流体継手付ホース N コック付ツインホース II

 日酸TANAKA株式会社

⚠ 警告

- ❶ 本取扱説明書を必ずお読みください。本取扱説明書に従わない不適切な操作や整備は、重大な人身事故につながるおそれがあります。
- ❷ 当製品は手動ガス切断器、溶接器および加熱器に取り付けて使用する専用の自動開閉弁付流体継手付ホースです。火災等が発生するおそれがあるため、それ以外の用途には使用しないでください。

重要

- ❶ 本取扱説明書は、常に製品のそばに置いていつでも読めるようにしてください。
- ❷ 本取扱説明書以外に、ご使用になる調整器、溶接器、切断器及び加熱器、火口、乾式安全器（逆火防止器）の取扱説明書も合わせてお読みください。

重要

- ❶ 可燃性ガスおよび酸素を用いて金属の溶接、切断又は加熱作業を行う場合は労働安全衛生規則に基づき、下記1～3のいずれかの資格が必要です。資格を有してから当製品をご利用ください。
労働安全衛生規則 第41条（就業制限についての資格）
 1. ガス溶接作業主任者免許を受けた者
 2. ガス溶接技能講習を修了した者
 3. その他厚生労働大臣が定める者
- ❷ 詳細の取扱いについては、下記教本も併せてお読みください。
最新ガス溶接技能者教本 （出版社：産報出版）
新/ガス溶接作業の安全 （出版社：中央労働災害防止協会）

1. はじめに

本取扱説明書は、「自動開閉弁付流体継手付ホース N コック付ツインホース II」を安全にご使用していただくための説明書です。

当製品は、圧力調整器出口に接続された乾式安全器（逆火防止器）と吹管を接続するゴムホースをワンタッチで接続する継手で、吹管接続側に自動開閉弁が内蔵されています。

本取扱説明書では当製品を安全にご使用いただくために安全についての表示を次のように使い分けております。

- ⚠ 危険：死亡、重傷又は重大な物的損害を招く差し迫った危険があるリスクに用いています。
- ⚠ 警告：死亡、重傷又は重大な物的損害を招く可能性がある潜在的危険があるリスクに用いています。
- ⚠ 注意：軽傷又は軽微な物的損害を招く可能性がある潜在的危険があるリスクに用いています。
- 重要：使用上又は取扱上の安全性以外の注意事項、留意点等を示しています。
- ❶ 強制：機器を取り扱う上での使用上又は安全性に対して「しなければならないこと」を表記しています。
- ❷ 禁止：機器を取り扱う上での使用上又は安全性に対して「してはいけないこと」を表記しています。

2. 安全に使用していただくために

⚠ 警告

- ⊖ 損傷していたり、ガス漏れの疑いがある機器を使用しないでください。ガスが漏れている場合引火し火傷を負うことがあります。
- ⊖ 接続部からガス漏れが確認された場合、使用しないでください。接続部がガス漏れの状態のまま使用しますと、引火、逆火、火災等、重大な人身事故が起こることがあります。
- ❗ 使用ガスが当製品のガス仕様と一致しているか確認してから使用してください。仕様以外のガスをご使用の場合は弊社へご確認下さい。仕様以外のガス又は弊社にて使用不可と判断された混合ガスを使用した場合、自動閉止機能など、本来保有している機能が正常に働かなくなり火傷や火災が発生するおそれがあります。
- ❗ 当製品は必ず決まったプラグ・ソケットに接続して使用してください。誤った取り付けの状態で使用すると外傷、火傷、火災等の発生のおそれがあります。
- ❗ 当製品を取り付ける前に、取付部の埃、ゴミ、水分等を除去してください。自動閉止機能が作動しなくなり、火傷や火災等が発生するおそれがあります。
- ⊖ 他社の継手と接続しないでください。ガス漏れが発生し、火傷を負うおそれがあります。
- ⊖ 最高使用圧力を超えて使用しないでください。継手接続部が外れたり、ホースが破裂するおそれがあります。
- ⊖ 油およびグリスを使用しないでください。使用すると爆発、着火や火災の危険性があります。
- ❗ 使用温度範囲内で使用してください。使用温度範囲外で使用した場合、パッキン類が変形しガス漏れの危険性があります。
- ❗ 安全のために保守点検を必ず行ってください。保守点検を怠りますと正常な機能を維持できなくなり、重大な人身事故や火災が起こることがあります。異常が発見された場合は直ちに使用を中止して新品に交換してください。
- ⊖ ホースを容器に掛けたり、肩に掛けて作業しないようにしてください。ガス漏れが発生し、火傷を負うおそれがあります。
- ❗ 作業中にホースからの漏れに着火した場合は速やかにガスの元栓を閉じて消化してください。
- ⊖ 当製品の分解修理・改造は行わないでください。ガス漏れにより重大な事故の発生原因となります。

⚠ 注意

- ❗ 気密の確認には漏れ検知液を使用してください。裸火による点火での気密確認は火傷を負うおそれがあります。
- ❗ ホースは最小曲げ半径（ホース外径の8倍）以上で使用し、無理な曲げ、ねじれ、引っ張り、折れなどのないようにしてください。
- ❗ 歩行中に引掛けたり、物の下敷きになったりすることの無いようにしてください。

3. 操作

重要

漏れ確認のときに検知液がゴムホース端面にかかると細かな気泡が発生することがあります。これはゴムホース自身の内部（内管、補強層、外層の3層）に残った空気が押出される現象によるもので漏れではありません。ゴムホースは水に浸して漏れ確認を行います。漏れている場合は大きな気泡が止まることなく連続して発生します。ゴムホース内部の空気は時間経過とともに減少します。

(1) 使用機器との接続

図の接続例に従って接続してください。

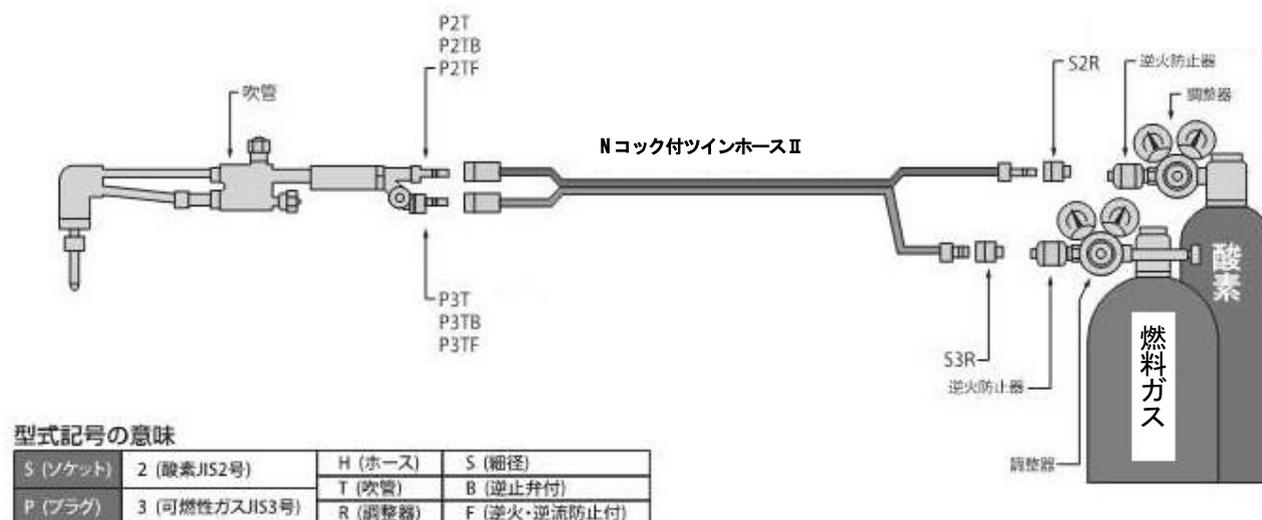


図 N コック付ツインホースⅡ接続例

(2) 接続部の漏れ確認

- ① 吹管の各バルブを閉じた状態で、ガス圧を使用する圧力まで上げてください。
- ② 各接続部に漏れ検知液を塗布し、ガス漏れがないことを確認してください。
ホースは水に浸して発泡が発生しないか全体を確認してください。
- ③ 漏れが止まらない場合はただちに使用を中止し、新品に交換してください。

4. 保管

- ① 直射日光を避け、湿度の低い冷暗所に保管してください。
- ② 梁や壁の釘にかけて保管しないでください。つぶれ、折れ、ひび割れなどの原因となります。
- ③ 最小曲げ半径（ホース外径の8倍）以上に巻き、平らなところに保管するか、または専用リールなどに巻いて保管してください。
- ④ ホースの上に重いものを置かないでください。つぶれ、変形、割れなどの原因となります。

5. 保守点検

重要

漏れ確認のときに検知液がゴムホース端面にかかると細かな気泡が発生することがあります。これはゴムホース自身の内部（内管、補強層、外層の3層）に残った空気が押出される現象によるもので漏れではありません。ゴムホースは水に浸して漏れ確認を行います。漏れている場合は大きな気泡が止まることなく連続して発生します。ゴムホース内部の空気は時間経過とともに減少します。

(1) 作業前点検

作業前に当製品とプラグまたはソケットとの接続部に漏れ検知液を塗布しガス漏れがないことを確認してください。

ホースは水に浸して発泡が発生しないか全体を確認してください。

(2) 定期自主点検

少なくとも半年に1回以上、次の手順に従い定期自主点検を行ってください。

定期自主点検に使用するガスは窒素もしくは乾燥空気で行ってください。

① 外観

当製品の損傷、継手の変形がないことを確認してください。

② 気密

当製品の出口側を閉じ、入口側から、酸素側は0.99MPa、燃料ガス側は0.13MPaの圧力を加え、ホースは水に浸して発泡が発生しないか全体を確認、および各接続部は漏れ検知液を塗布しガス漏れがないことを確認してください。

③ 自動閉止弁の動作確認

当製品の入口側から0.01MPaの圧力を加え、出口側からガス漏れがないことを漏れ検知液で確認してください。

(3) 定期交換

使用開始から1年を経過した製品は新品への交換を推奨いたします。器具にはゴム部品等が使用されており、それらが経年劣化すると機能が低下するおそれがあります。ホースの製造年は西暦下2桁で表示しています。

6. 仕様

品名		Nコック付ツインホース II			
型式		NW5-5	NW10-5	NW20-5	NW30-5
最高使用圧力	燃料ガス	0.13MPa(アセチレンは0.1MPa)			
	酸素	0.99MPa			
ホースの色	燃料ガス	赤/橙			
	酸素	青			
入口形状		Nコック プラグ形状			
出口形状		Nコック ソケット形状			
使用温度		-20~70°C			
ホース長さ		5m	10m	20m	30m
ホース呼び径		φ5			
接続可能ソケット	燃料ガス	S3R			
	酸素	S2R			
接続可能プラグ	燃料ガス	P3T,P3TB,P3TF			
	酸素	P2T,P2TB,P2TF			

- ・使用できる燃料ガスは水素、プロパン、ブタン、天然ガス、DMF、MPS、LPG、メタン、アセチレンとなります。
- ・使用されているホースは、1999年7月に国際規格（ISO）に整合させ改正したJIS K 6333に準拠したホースです。

7. 交換

下記の故障が発見された場合には、直ちに交換してください。

- (1) 逆火させたもの。
- (2) プラグ、ソケットが変形および傷ついたもの。
- (3) ホースからガス漏れがあるもの。
- (4) 定期自主点検で不具合があったもの。

8. 廃棄

製品を廃棄するときは「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」に準拠し、排出業者（お客様）の責任において、必ず、産業廃棄物処理業の許可を有する事業者へ委託して産業廃棄物の処理を行ってください。

9. 連絡先

弊社サービス店または下記にご連絡ください。

事業所	郵便番号	住所	電話番号	FAX 番号
産業機器事業部	387-0018	長野県千曲市大字新田 823	026 (272) 6964	026 (272) 2885